

# 第 2 回 実践方言研究会

日時: 2018年5月19日(土) 10:00~12:00

会場: 明治大学駿河台キャンパス 12号館 10階 2102教室

※日本語学会会場の建物(リバティータワー)とは異なります。  
道路を隔てて御茶ノ水駅寄りの区画にある建物です。

- ・JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅、下車徒歩約3分
- ・東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅、下車徒歩約5分
- ・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅、下車徒歩約5分

アクセス: [http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/access.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html)

駿河台キャンパス内の配置: [http://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/suruga/campus.html](http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html)

## 「しまくとぅば」普及推進計画と学校の取組

中本 謙 (琉球大学)

## 岩手県沿岸被災地の小・中学校における

## 方言理解教育の支援

大野眞男 (岩手大学) ・ 竹田晃子 (立命館大学) ・ 小島聡子 (岩手大学)

2012年から続けてきた東日本大震災に関わる「文化庁委託事業研究報告会」を発展させ、昨年秋に新たに「実践方言研究会」を立ち上げました。方言によるコミュニケーション上の障害や効果、地域社会の活性化への寄与、そして次世代への継承と教育といった方言学の実践的な課題を扱います。毎回、研究発表や活動報告を行うことで、この分野の情報・意見交換の場としたいと思います。

今回は、学習指導要領が改訂され小・中学校での方言の扱いが従来と変わったことを受けて、日本の南と北で実践されている学校教育と方言をめぐる取り組みの御紹介をいたします。また、併せて文化庁国語課国語調査官・鈴木仁也氏より、学習指導要領改訂に関連した方言の扱いに関するコメントをいただくことになっております。

みなさま、ふるってご参加ください。

幹事: 今村かほる、大野眞男、小林隆、半沢康、杉本妙子、新井小枝子

今回の問い合わせ先: 岩手大学教育学部日本語学研究室 (大野眞男)

電話: 019-621-1574 電子メール: oono@iwate-u.ac.jp